

お知らせ

愛媛大学プロテオサイエンスセンターでは、医学・医療の発展のために様々な研究を行っています。その中で今回示します以下の研究では、日本赤十字社から譲渡された献血血液を使用します。

この研究の内容を詳しく知りたい方は、下記【お問い合わせ先】までご連絡下さい。

【研究課題名】 マラリア原虫の赤血球寄生分子機構の研究

【研究機関】 愛媛大学 プロテオサイエンスセンター 寄生病原体学部門

【研究責任者】 石野智子（寄生病原体学部門、准教授）

【研究の目的】

マラリアは熱帯地域で蔓延している重篤な感染症ですが、ワクチンが実用化されていません。有効なワクチンの開発には、マラリア原虫の赤血球寄生の分子機構を理解する必要があります。私たちは、ヒト血漿及びヒト赤血球を用いて培養した熱帯熱マラリア原虫を材料に、マラリア原虫が赤血球に侵入する際の、原虫タンパク質の発現様態を解析します。これらのデータを基にすることでマラリアワクチン開発に貢献できると考えています。

【研究の方法】

<利用する試料>

血液製剤の規格に適合しない日本赤十字社から譲渡された献血血液（赤血球および血漿）を利用しています。その際には、献血者の ABO 型と Rh 型の情報のみを取得し、個人情報は一切入手しておりません。

<試料の取り扱い>

赤血球は培養液を用いて洗浄し、血漿は脱フィブリン処理、非動化処理を施し、血清として使用します。

処理後の赤血球、血清を培養液に加え、熱帯熱マラリア原虫を培養します。

【個人情報の取り扱い】

採血事業者（日本赤十字社）は献血者に対し、「個人情報の保護に関する法律」（平成 15 年法律第 57 号）を遵守し、研究開発等の利用のために献血血液を使

用する又は第三者に提供する場合は匿名化を行い、献血血液から献血者を特定できなくするための措置を講じています。すなわち私たち研究実施者には、献血者個人を特定できる情報は渡らず、個人情報はどのような形でも公開されることはありません。

さらに詳しい本研究の内容をお知りになりたい場合は、【お問い合わせ先】までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

愛媛大学プロテオサイエンスセンター寄生病原体学部門

791-0295 愛媛県東温市志津川

Tel: 089-960-5286